



□校訓 正しく かしこく たくましく
 □学校教育目標 一人一人が「正しく かしこく たくましく」生き抜く学校の創造
 ~がんばろう 生保内~

7日の卒業証書授与式は、感動しました！



ひな壇での卒業生

7日に卒業証書授与式を開催しました。午前10時前に卒業生が入場し、式が始まりました。最初に卒業証書を私から授与しました。ステージに上がった卒業生には、もうすでに涙を流す生徒もあり、感極まっている様子が伝わってきました。

式辞では、今年1年間卒業生ががんばってきたことを話しました。また、「飛澄（ピース）学年」は小学校からの学年ネームであり、中学校では「澄んだ心で大きく飛び立っていきたい」という願いから「飛澄学年」に決まったことをお話ししました。そして、ピースを英語にすると「PEACE」平和という意味になり、平和な世の中になるように行動できる人になってほしいことをお願いしました。また、「PIECE」一片、パズルなどのピースという意味にもなること、卒業生はかけがえのない一人であり、そんなみんながそろってパズルは完成する、この後、成人式、厄払い等でみんながそろい、思い思いのパズルが完成することを期待していることもお話ししました。

「希望の門出」として、生徒会長K.Cさんの送辞、1・2年生の歌が流れると卒業生の顔にも涙が流れていました。その後、卒業生代表K.Tさんの答辞で思い出を語っていると、思い出したのか卒業生の涙はマックスとなりました。でも卒業生の歌を最後まで歌い切りました。最後は、全員で「旅立ちの日」「校歌」を歌い、全

員で思い出を共有しました。来賓の方々から「感動した」「最高の卒業式だった」とお褒めの言葉をいただきました。最高の卒業証書授与式、みなさん、ありがとうございました。

1・2年生が門送りを盛り上げてくれました。

生徒会執行部が企画した門送りは、あいにくの雨となったため、玄関前にて行いました。卒業生に花が渡され、その後、応援団から飛澄学年にエールが送られました。しかし、突然、卒業生からお返しのエールが送られました。生中生の一体感が感じられるひと時でした。最後の歓送では、部活動の後輩たちから花束が送られるなど、離れがたい雰囲気となりました。1・2年生のみなさん、準備等、ありがとうございました。



応援団からエール



エールのお返し

東日本大震災から15年。震災を忘れません。

3月11日は、東日本大震災が起きてから15年目となりました。テレビや新聞でも「3.11」特集が行われるなど、いつまで経っても忘れられないもの、いや忘れてはいけません。



1年生の黙とうの様子

現在の中学生は、震災後に生まれているため、あの時の揺れを体験していませんが、映像などで知ることができます。今年も発生時刻の14時46分に黙とうをしました。みなさんは、どんなことを考えたのでしょうか。ぜひ、この機会に地震について、防災について、命について、考えていきたいものです。